

The door to the books

令和5年度
五島高校：図書委員会
10月10日作成
11月20日発行

イラスト部制作担当
1-2
1-2
1-4
1-4
図書委員制作担当
2-4
2-4



時の流れと共に移り変わる 家族のカチ

題名：家族じまい
著者：桜木紫乃
出版社：集英社

結婚と共に家族ができ、増えては減って…最後は一人。家族って一人ひとり事情や思惑がそれぞれ違う。

私も時を重ねて、いつか歳相応の人生を迎えると思うのですが、家族の関係を保つ事が困難であると感じさせる作品です。ラストシーンは胸に迫るものがあります。

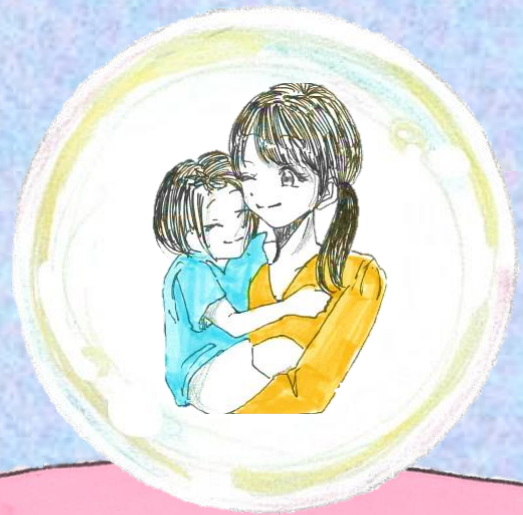
世界に一つだけの家族を作ろう

題名：にじいろガーデン
著者：小川糸
出版社：集英社

泉と千代子、ふたりの女性が愛し合い、自分たちの子どもを育てながらタカシマ家という新しい家族を作っていくお話。

人を愛することを鮮明に感じ取れます。家族とは…著者が伝えたいことは…？重めの内容ですが軽やかな文章で非常に読みやすい。

ぜひ読んで見てください。



令和時代の新しい家族のカチ

題名：そしてバトンは渡された
著者：瀬尾まいこ
出版社：文藝春秋

「困った。全然不幸ではないのだ。」という書き出しで物語は始まる。

ややこしい家族だった。どんな境遇であろうと回りも変えられるくらいの持ち前の明るさと人柄であった主人公が、家庭を持った時……自分を幸せにすることができた。

タイトルの意味に気付いた時、たくさんの光をもらえること間違いなし！

また映画化もされたので、ぜひこちらもご覧あれ。



図書館統計のお知らせ

9月の貸出冊数は68冊です。
昨年度は93冊でした。
9月昼休みと放課後の入館者数は203人でした。

家族と大切な人との繋がり

題名：凍りのくじら
著者：辻村深月
出版社：講談社

10代の孤独と成長を美しく描いた作品。自分は孤独だと感じる人がいる人や感動に包まれる優しい物語が読みたい人におすすめです。この話の所々に、ナント!「ドラえもん」の秘密道具が登場します。この物語の鍵を握っている、理帆子と彼女の父親が大好きな作品。ストーリーが進むごとに「おや!？」と発見があり、普段本を読まない人でも楽しみながら読むことができます。

著者が『ドラえもん』の大ファンであることから生まれた長編小説です。ぜひ読んで見てください。

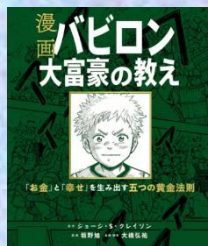


家族、その出会いは偶然か必然か？

題名：偶然とは何か 新書
著者：竹内啓
出版社：岩波書店

「偶然」の意味を解き明かす本。著者は著名な統計学者なので、「偶然」の話とともに「確率論や統計学」の話もでてくる。偶然を計算したりして、とても面白い本です。何気なく使ってしまう「偶然」という言葉。しかし、それは「必然」の対語ではない。では偶然というのは、実は必然なのでしょうか？奥深い…ぜひ読んで見てください。





題名:バビロン大富豪の教え

著者:ラリー・N・バーネル
出版社:文響社

「金持ちになりてえ」
誰もがそう思ったことがあるでしょう。
資源が少ない土地であったが金融によって
栄えたバビロニア王国。都市バビロンに住む大
富豪アルカドに富豪のなり方を聞いてみた。
紀元前から粘土板で受け継がれてきた歴史
ある本。
富豪のなり方は紀元前から変わらない、その
教えを知りましょう。



題名:二十代で得た知見

著者:F
出版社:三省堂書店

人生は忘れがたい断片にいくつ出会い、心動かされたか
で決まる。

一人の人間の人生は、
出会った言葉でも、
預金額で決まるとも、
恋愛だの結婚で決まるとも思えない。
ある夜、友人が電話で語ってくれた台詞、
または、恋人がふとした瞬間吐き捨てた台詞、
バーで隣の男が語ってくれた一夜限りの話、
なんの救いもない都会の景色、
あるいは、夜道で雨のように己の全身を貫いた言葉にも
ならない気づき。

そういったものによって、人生は決定されたように思うのです。



題名:星の王子さま

著者:アントワーヌ・ド・
サン=テグジュペリ
出版社:早川書房

「おとなは、だれも、はじめは子どもだった。(しか
し、そのことを忘れずにいるおとなは、いくらもない。)」

世界で三番目に多く読まれている哲学寓話の
本。子供の心を忘れてしまった大人にも響くのであ
ります。



題名:書齋の鍵

著者:喜多川泰
出版社:現代書林

本が嫌いな主人公は、父の死をきっかけに
父の遺言を見ることになる。そこには、「書齋
の鍵はしかるべき人に預けてある。必要であ
れば、その者から鍵を受け取る。」とあつ
た。

遺言通り、主人公は鍵を探し始める。

本嫌いな主人公が書齋の鍵を探す中で父
の思いを知り、読書の人生に与える影響の大
きさを知っていく物語です。

本が衰退していく今の世の中だからこそ、
ぜひ読んでほしい一冊です。



**高校卒業までに
読んでほしい本**

人生を豊かにする本を紹介します。

私たちは、これから大きな帰路に立ち、多くの悩みにぶち
当たります。高校生の時に出会って良かったと思う本がた
くさんあります。できる後悔先に立たず、1冊だけでもしっ
かり読んで実践すれば、人生が変わるでしょう。
読書が苦手な人も興味がある本や簡単な本で良くて、
完璧に読もうとしなくて良いのです。



題名:7つの習慣

著者:スティーブン・R・コヴィー
出版社:キングベアー

「間違ふこともあるだろう。気まずい思いをすることもあるだ
ろう。だが、毎日の私的的成功を積み重ね、インサイド・アウトの
生き方を一歩ずつ進んでいけば、結果は必ずついてくる。
種をまき、辛抱強く雑草を抜き、大切に育てれば、本当の成
長の喜びを実感できるようになる。そしていつか必ず、矛盾の
ない効果的な生き方という最高の果実を味わえるのであ
る。」—本文より

私たちは将来に待ち受ける困難に立ち向かうため、自分を
変えなければいけません。そこにある課題は一見複雑そうで
すが、実は単純なものですべてのものに本質、原則がありま
す。その本質、原則について書かれているのがこの本です。
みなさんの生活にも取り入れてみてください。

※原作より読みやすい「まんがでわかる7つの習慣」も
あります。

